

2 年	単元名	お話のさくしゃになろう （書く）	4 時間
単元の目標	1) 始め・中・終わりのまとまりに気をつけて、物語を書くことができる。 2) 主語と述語の関係に気をつけて、書き言葉で書くことができる。 3) 様子が伝わりやすい言葉を選ぶことができる。→（読み返して推敲することを通し、語彙を増やすことができる。） 4) 句読点や、かぎかっこの使い方を理解し、正しく使うことができる。		
日本語の目標	目標 1：主語と述語を意識して文章を書くことができる。（P 27 参考） 『〇〇は、～だ。』例 1) その建物は郵便局だ。 『〇〇は△△だ。』例 2) 図書館は静かだ。 『〇〇は●●した。』例 3) 兄は言った。 目標 2：場面に応じた、適切な言葉を選ぶことができる。 話す→①聞く②尋ねる③答える④知らせる⑤教える⑥伝える⑦叫ぶ、など 場面に応じて使い分けられる、似た言葉があることを知る。		
学習課題	構成に沿って、登場人物の紹介や出来事を考え、お話をつくることができる。 推考の過程で似ている言葉の中から、場面に応じた適切な言葉を選ぶことができる。		
主な学習活動	1) 学習の流れを捉える。 2) 「始め、中、終わり」の構成について学習する。 3) 構成に沿ってまとまりごとに話を作る（ワークシート 2、3） 4) ワークシート 2、3 で作ったお話をもとに清書をする。 5) 友達とお話を聞かせ合う。		

学習活動計画

時 限	内 容	活 動	ポ イ ン ト
		<単元を通してのめあて> 絵から想像したお話を書いて、お家の人にプレゼントしよう。	「家族へのプレゼント」することを目標にすることで、やる気を高めるねらい。
1	1) 学習の流れをつかむ。 2) 学習に必要な言葉の確認をする。 3) 1 枚の絵を見てその場面に合うお話を作る。 4) 3 つのまとまりに分けて、お話を考える。 （最初は「はじめ」と「おわり」部分。） 5) お話を書く。 （11 月 13 日）	<めあて> 絵を見て自分だけのお話を考えよう。 1) 教科書（P 71）を読んで授業の流れを掴む。 2) 言葉の意味を確認する（※ことば P 163—164） （「作者」、「出来事」、「あらすじ」、「登場人物」） 3) 教科書 P 72 を読む。P72 の絵を見て、「登場人物の名前」や「人物の人から」、「出来事」や絵から想像できる登場人物の「会話」などを考える。 考えたことをワークシート 2 に書いていく。 4) P73 の絵がついたワークシート 5 とワークシート 6（はじめと終わりの 2 枚）に注目し、どのような点が変わっているかに着目しお話や人物同士の会話を自由に想像し、話し合う。 教科書の「はじめ」の部分の例文をホワイトボードに貼り付けてみんなで読む。 5) ワークシート 5 に、「はじめ」の部分の内容や会話文を想像して自分で考えたお話を書く。 「はじめ」に書く内容→登場人物の紹介、登場人物の関係、場所など。 次に教科書の「おわり」の部分の例文をホワイトボードに貼り付けて、みんなで読む。 同じように「終わり」の部分の内容や会話文を想像して自分で考えたお話をワークシート 6 に書く。	ワークシート 1 お話を考える際の手助けとして言葉を書き出しておく。（教科書 P163-P164）

		「終わり」に書く内容→ 出来事が起こったことで、登場人物の気持ちや関係、状況がどう変わったか。	
	家庭学習課題	ワークシート3と4「言葉集めワークシート」を終わらせる。 NHKのビデオ視聴【にているけどちがうことば】 https://www2.nhk.or.jp/school/movie/bangumi.cgi?das_id=D0005150196_00000	
2	1) スイミーを題材に用いて、お話の中の「出来事」の重要性について考える。 (11月18日)	ワークシート7を使って、「スイミー」のお話の「はじめ」と「おわり」の部分を読み出す。 次に「中」の部分を含めてスイミーを読み出し、 「中」のまとめ（できごと）が起こることが、お話の中でどのような役割を果たしているかをみんなで話し合い、ワークシート8に自分の考えを一言でまとめる。	はじめ・中・終わりのシーンの絵をホワイトボードに掲示。
	家庭学習課題		
3	お話を推敲する。 (11月20日)	くめあて> まとまりごとに場面をつなげてお話を書こう。 3) 教科書の「中」の例文をホワイトボードに貼り付けてみんなで読む。 「中」に書く内容→出来事の起こるきっかけ、出来事 P4) 73 の絵がついたワークシート10「中」の場面の絵に注目し、どのような出来事が起こると「はじめ」と「終わり」がつながるかを考え、お話の内容や会話を想像してワークシート10・11に書く。 時間が余った場合や、文章を書くのが難しい場合はストーリーを絵から描き始めてもよい。 ワークシートの5、6、10、11が書けたら、お話の内容を確認する。 時間が余ったらワークシート（清書 下書き）にとりかかる。	自分の考えた登場人物の人柄と出来事の様子をわかるように物語を書く。
	家庭学習課題	NHKのビデオ視聴【かくとぎのことば】 https://www2.nhk.or.jp/school/movie/bangumi.cgi?das_id=D0005150208_00000 清書を終わらせる。清書がおわったら「お話しチェックリスト」を使ってお話の内容を確認する。（グーグルクラスルームにアップロード） 担任から返却されて訂正がなければお話を音読する練習をする。動画に撮り（グーグルクラスルームにアップロード。）	色鉛筆を使って絵に色を塗る 自分の選んだ一場面の絵を描いて台紙に貼っておく。
4	1) お友達とお話を聞かせ合う。 2) 友だちの話を評価する。 3) 学習を振り返る 4) 自己評価をする (12月4日)	くめあて> 作ったお話をみんなに聞いてもらおう。（他己評価） 1) 1人ずつ発表する。（動画を視聴） 2) それぞれ聞き終わったら、お話の工夫についてチェックシートをつける。 3) 教科書P75「たいせつ」を読み、学習をふりかえる。 4) 「ふりかえりシート」を使って自己評価をする。	発表する時、聞き手の集中力を途切れさせないため簡単なお話の工夫チェックシートを用意。 ループリックによる自己評価。
	家庭学習課題	出来上がった作品をおうちの人にプレゼントする。	